

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-1		事業名	学校・地域連携事業
担当	教)生涯学習部生涯学習推進課 上野 Tel.211-3872			
全体計画				
事業内容	学校・家庭・地域が一体となり、子どもを豊かに育ていくための地域教育力の向上を図ることを目的として、放課後や学校週5日制による休日、学校教育における総合的な学習の時間などにおいて、子ども向けプログラムの実施と地域人材の情報収集及び活用などを行う。 なお、地域活動及び地域ぐるみで学校教育を推進するとともに、地域の人々が共通の目的や関心のもとに、日常的に集い、学び、活動する場として「開かれた学校」づくりを進め、学校が地域の身近な生涯学習の拠点となることを目指している。		＜年度別の事業内容＞	
			○19年度 新規5校 (2年目5校、3年目5校、4年目5校、5年目以降25校:計45校) ○20年度 新規5校 (2年目5校、3年目5校、4年目5校、5年目以降30校:計50校) ○21年度 新規5校 (2年目5校、3年目5校、4年目5校、5年目以降35校:計55校) ○22年度 新規5校 (2年目5校、3年目5校、4年目5校、5年目以降40校:計60校) (運営委員会への委託は4年間、5年目以降は自主運営)	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	○各地域・学校の特色を生かして、自然体験や社会体験、世代間交流などの子ども向けプログラムのほか、地域人材の情報収集と活用等の事業を実施した。 ○土・日曜日、平日の放課後、総合的な学習の時間などに、主に学校を会場として実施している。 ○実施回数 303回(うち子ども向け216回) ○参加者数 48,188人 内訳 運営側 4,884人 子ども 30,555人 大人 12,749人 ○主な内容 花いっぱい運動、読み聞かせ会、交通安全教室、授業支援、学校環境整備(花壇整備)、地区スポーツ大会、河川敷ゴミひろいボランティア、ホテル放流会 等 【事業費(決算額) 2,175千円】		○自然体験や社会体験、世代間交流などの子ども向けプログラムを実施し、地域人材の情報収集と活用等を図ったが、昨年度に比べ実施回数及び参加者数が全体に増加した。 ○土・日曜日、平日の放課後、総合的な学習の時間などに、主に学校を会場として実施している。 ○実施回数 349回(うち子ども向け259回) ○参加者数 55,609人 内訳 運営側 5,682人 子ども 36,395人 大人 13,532人 ○主な内容 学校及び周辺歩道の環境整備(花壇整備)、読み聞かせ会、交通安全教室、地域安全マップ作製、こども見守り、高齢者との交流会、スポーツ大会、清掃活動、ホテル放流会 等 ○運営委員・ボランティア等研修会の実施 日時等 平成21年2月4日(水)10～12時、教育委員会会議室 参加者数 39名 内容 第1部『学習活動支援者への傷害保険』の加入内容 第2部グループ討議(各運営委員会の活動内容等) 【事業費(決算額) 2,175千円】	
事業内容	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	○各地域・学校の特色を生かし、自然体験や社会体験、世代間交流などの子ども向けプログラムを実施し、地域人材の情報収集と活用等の事業を実施した。 ○土・日曜日、平日の放課後、総合的な学習の時間などに、主に学校を会場として実施している。 ○実施回数 340回(うち子ども向け241回) ○参加者数 48,558人 内訳 運営側 4,931人 子ども 34,375人 大人 9,252人 ○主な内容 花壇整備、水田体験、玉ねぎ栽培、読み聞かせ会、昔遊び、交通安全教室、地域安全マップ作製、こども見守り、高齢者との交流会、スポーツ大会、清掃活動、ホテル放流会、もちつき大会等 ○運営委員・ボランティア等研修会の実施 日時等 平成22年2月8日(月)13:30～16:30、教育委員会会議室 参加者数 42名 内容 第1部報告「子どもの参加と地域活動～『子どもの権利条例』を踏まえて」 第2部講演「地域の教育力を活かす～子どもを育む学校・地域の連携」 第3部グループ討議(各運営委員会の活動内容等)		○各地域・学校の特色を生かし、自然体験や社会体験、世代間交流などの子ども向けプログラムを実施し、地域人材の情報収集と活用等の事業を実施した。 ○土・日曜日、平日の放課後、総合的な学習の時間などに、主に学校を会場として実施している。 ○実施回数 404回(うち子ども向け349回) ○参加者数 42,888人 内訳 運営側 4,213人 子ども 32,043人 大人 6,032人 ○主な内容 花壇整理、水田体験、玉ねぎ栽培、読み聞かせ会、昔遊び、安全マップ作り、高齢者との交流会、清掃活動、ホテルの光観察会、もちつき大会等 ○運営委員・ボランティア等研修会の実施 日時等 平成23年2月14日(月)13:30～16:00、教育委員会会議室 参加者数 30名 内容 第1部 実施校事業報告(4校) 第2部 グループ討議(各運営委員会の活動内容等) 【事業費(決算額) 2,175千円】	
所				
規				
模				
件				
数				
等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-1			事業名	学校・地域連携事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
事業実施校数	40校	45校	50校	55校	60校	60校	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 PTAや地域住民を運営委員として参画させ、行事等の企画・運営に積極的に携わっている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 研修等において、地域人材の情報収集や活用に対する適切な支援を行うことにより、さらに多くの市民参加を促している。</p>							
評価(成果)			課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・今までに市内60校の小中学校で実施し、その結果学校と地域の連携がより一層深まった。 ・「地域の学校」としての意識付けを教職員や地域住民に理解してもらい、「地域の子どもは地域で育てる」という意識を高めることに役立った。 ・学校と地域のネットワークが促進し、子どもの教育活動が豊かになった。 ・地域住民がより学校行事に参加するようになり、また児童・生徒も地域活動に積極的に参加し、関心を示すようになった。 			<ul style="list-style-type: none"> ・本事業が当初「開かれた学校」として「学校開放地域活動事業」の形で始まったという経緯もあり、既存の学校行事やPTA・町内会その他関連団体等の事業に地域住民あるいは児童生徒が参画するだけで、地域全体で子どもたちを育むための仕組みとしては不十分な事例もあった。 ・事業企画や調整、実施が学校主体となり、教員の負担が逆に大きくなっている事例も多い。 ・近年小学校では各教科や総合的な学習の時間などを通じて、主体的、自主的に地域人材の活用の取組が行われてきており、学校の教育課程の中に地域と連携した活動が位置付けられてきた。 				
今後の事業の予定・方向							
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業については大幅な見直しが必要であると判断されるところから、平成23年度からは新規開設校の追加を行わず、平成20～22年度に本事業を開始した学校についてのみ当初の契約予定期間まで継続し、委託終期である平成25年度をもって廃止する。 ・今後は、平成22年度で文部科学省からの委託が終了した「学校支援地域本部事業」の成果も取り入れながら、「学校図書館地域開放事業」も含めて「地域活動推進事業」全体的な見直しを行い、学校・家庭・地域が連携して地域全体で子どもたちを育むための新たな仕組みについて検討していく。 							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-1			事業名	学校・地域連携事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	—	—	—	—	—				
	財源内訳									
	国・道支出金									
	市の債									
予算	事業費	2,526	2,508	2,491	2,475	10,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
実績	事業費	2,175	2,175	2,198	2,175	8,723				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					—			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										